



- (2) 確かな児童理解に努め、児童と教師の信頼関係及び児童同士の信頼関係を基盤とする学年・学級経営を推進する。
- (3) 専科等との協調・連携を大切にし、「共通理解・共通行動」を基盤とした学年経営を推進する。
- (4) 児童一人ひとりの自主的、実践的な態度の育成を目指す学級経営を推進する。
- (5) 「本気手帳2018」を活用するとともに、「認め合い名人・あいづち名人」「『勇気づけ』の極意」を生かし、児童一人ひとりが達成感や成就感、自己有用感のもてる学級経営を推進する。
- (6) 目的意識・相手意識をもった「心のこもった あいさつ」「返事」の徹底と「ありがとう」が響く学年・学級経営を推進する。

## 2 「よい授業」の4つの因子を踏まえた学習活動の工夫と個に応じた指導の充実

- (1) 国と市の学習状況調査結果や「よい授業」の4つの因子を踏まえた授業づくりに取り組み、確かな学力の向上に努める。
- (2) 基礎的・基本的事項が確実に身に付くよう指導方法を工夫するとともに、分かりやすく楽しい授業を展開し、基礎学力の定着と向上を図る。
- (3) 複数の教師による指導や少人数指導など指導形態を工夫し、一人ひとりを伸ばす指導の充実を図る。
- (4) 今までに積み重ねてきた研究成果を生かすとともに、本年度の研究仮説をふまえ、学習過程の改善に努める。
- (5) チャイムで授業開始などの授業規律が守られ、児童が互いに学び合い、高め合う学習活動を推進する。
- (6) A L Tや非常勤講師と連携した楽しい授業の展開に努めるとともに、「グローバル・スタディ」の内容の充実を図る。

## 3 児童一人ひとりのよさを生かし豊かな心をはぐくむ教育活動の展開

- (1) 「おはよう活動（駅前清掃活動）」や「資源回収活動」などのボランティア活動を通して、奉仕の心の育成に努める。
- (2) 「きらめきメール」を通して、互いのよさを認め合う児童の育成に努める。
- (3) 校内音楽会や音楽朝会、吹奏楽部の演奏、ミニライブなどを通して、音楽の響き合う学校づくりを推進し、豊かな心をはぐくむ。
- (4) 「読書大好き いつも手元に本」を合言葉に、朝読書や図書ボランティアと連携した「読み聞かせ」や学校図書館活動の充実を通して、児童が自分から進んで読書に取り組む読書習慣の一層の定着に努める。
- (5) 硬筆や書き初め、走力向上・持久走などの課外練習の系統的・効果的な運営に努め児童の意欲や自信を育てる。
- (6) 考え、議論する道徳授業を確実に実践し、適切な評価を行うとともに、いじめを許さない教育の推進に努める。
- (7) 「きれいすっきり 整理整とん」「あとみよそわか」を合言葉に、くつのかかとそろえ、机の中の整理、短時間で効率のよい清掃に取り組ませる。

- (8) 「にぎなげプロジェクト」を推進するとともに「あおぎり体力アップ」や体育的行事等を通して、健康な体づくりに進んで取り組む児童を育成する。

#### 4 豊かな人間性をはぐくむ児童会活動や体験活動の充実

- (1) 委員会活動・クラブ活動、集会活動を意図的・計画的に行い、児童の自主的な実践活動の活発化を図る。
- (2) 特色ある教育活動である「あおぎりタイム」「あおぎりスマイルまつり」「なかよし給食」などの異学年交流を通して、ふれ合いを深めるとともに、集団の一員としての自覚を高め、責任感をはぐくむ。
- (3) 学習の理解を深め、定着を図る方策の一つとして、校外学習や体験学習を効果的に組み入れる。

#### 5 児童理解を深め、一人ひとりの成長を支援する生徒指導の充実

- (1) 「あおぎりっ子5つのやくそく」の指導を各学級において具体化するとともに、あいさつ、返事などで「Smile」「Big voice」「Eye contact」を徹底する。
- (2) 家庭訪問やニコニコ相談、個人面談などの機会を積極的に活用して、児童理解を深め保護者との信頼関係を構築するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも情報共有し、組織として対応する教育相談体制を構築する。
- (3) 日頃から児童の発する小さなサインを見逃すことなく、積極的に声を掛けたり、悩みや相談に丁寧に耳を傾けたりして、いじめやトラブルの未然防止と早期発見・早期対応に努め、迅速かつ適切に組織的な生徒指導を展開する。
- (4) 目的を明確にした「いのちの支え合い」を学ぶ授業（5，6年）を1学期に実施するとともに、児童の心のサポート体制の充実に努める。

#### 6 特別支援学級「みやのこ」の指導の充実と特別支援教育体制の整備

- (1) 児童一人ひとりに応じた効果的な指導を展開する。
- (2) 通常学級と特別支援学級が相互に理解しあえる環境づくりや、近隣小・中学校との積極的な交流を進める。
- (3) 個別の支援計画の活用を通して、全教職員が情報を共有し、組織的に適切な指導が展開できるようにする。
- (4) 関係機関と連携し、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実に努める。

#### 7 安全・安心な学校づくりと学校安全ネットワーク体制の充実

- (1) 日常的に、防犯・安全指導を展開し、特に登下校時の防犯や安全に対する児童の意識を高める。
- (2) 登校指導や通学班指導、交通安全教室などを通して、児童の実態に即した安全教育を進める。
- (3) 避難訓練や引き渡し訓練を通して、児童、教職員の防災意識の向上を図る。
- (4) PTAや防犯ボランティア、各自治会の見守り活動等と連携した学校安全ネットワーク体制の一層の充実に努める。

(5) 教職員のクライシスマネジメント、リスクマネジメント意識の浸透を図る。

## 8 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進

(1) 児童が楽しく意欲的に学ぶことができる、清潔で整頓された学習環境を整備する。

(2) 学年園や花壇、校内の緑地帯の美化を進め、花と緑に囲まれた「きれいな学校」をつくる。

(3) 学習ボランティアやゲスト・ティーチャーなど、地域等の指導者を招いた授業や活動を積極的に導入して、児童の学習活動の広がりを図る。

(4) 大宮東中学校や関係諸団体等と連携し、スクールサポートネットワークの充実を図り学校行事や授業での交流等を一層推進する。